

人001	項目名	生活困窮者自立相談支援事業費		
予算書項目	地域共生社会推進・生活困窮等包括的支援事業費	ページ	37	所 属 名
年度	R5	総務部人権政策局 人権推進課		
会計名				
一般会計				
款	民生費			
項	社会福祉費			
目	人権交流プラザ管理費			
(単位：千円)				
補正前額	16,378			
要求額	242			
総務部長段階査定額	242	その他の財源の内訳		
市長段階査定額	242	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
区 分	補正額			
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	242		
	計	242		
備考欄				
事業の概要 【問合せ先】中央人権福祉センター 0857-24-8241 【1次総の施策体系】1201（実施計画関連事業） 【事業の経過及び背景】 パーソナルサポートセンターにおいて、生活困窮者を対象に生活に関わるさまざまな相談に対応。相談支援員が困りごとや不安を聞き課題を整理し、関係機関と連携しながら自立に向けた支援を行っている。 【事業の目的及び効果】 令和4年度に国庫支出金として概算払の交付を受け、実績報告の結果、過大交付となっていたため国へ返還するもの。 【事業の内容】 令和4年度重層的支援体制整備事業交付金の精算による償還 自立相談支援事業 $12,279千円（受入額） - 12,037千円（実績額） = 242千円（返還額）$				

人002	項目名	地域共生社会推進・包括的支援事業費		
予算書項目	地域共生社会推進・生活困窮等包括的支援事業費	ページ	37	所 属 名
年度	R5	総務部人権政策局 人権推進課		
会計名				
一般会計				
款	民生費			
項	社会福祉費			
目	人権交流プラザ管理費			
(単位：千円)				
補正前額	9,195			
要求額	1,009			
総務部長段階査定額	1,009	その他の財源の内訳		
市長段階査定額	1,009	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
区 分	補正額			
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	1,009		
	計	1,009		
備考欄				
事業の概要 【問合せ先】中央人権福祉センター 0857-24-8241 【1次総の施策体系】1403（実施計画関連事業） 【事業の経過及び背景】 地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応するため、包括的な支援体制を整備し、生活困窮者のための各種事業を実施している。 【事業の目的及び効果】 令和4年度に国庫支出金として概算払の交付を受け、実績報告の結果、過大交付となっていたため国へ返還するもの。 【事業の内容】 令和4年度重層的支援体制整備事業交付金の清算による償還 ①生活困窮者等のための地域づくり事業 $1,107千円（受入額） - 425千円（実績額） = 682千円（返還額）$ ②多機関協働事業 $4,839千円（受入額） - 4,512千円（実績額） = 327千円（返還額）$				

人003	項目名	麒麟のまち地域食堂フォーラム事業費
------	-----	-------------------

予算書項目	子どもの貧困対策推進事業費	ページ	37
-------	---------------	-----	----

所属名	総務部人権政策局 人権推進課
-----	-------------------

年度	R5
----	----

会計名	一般会計
款	民生費
項	児童福祉費
目	児童福祉総務費

(単位：千円)

補正前額	0
------	---

要求額	5,000
-----	-------

総務部長段階査定額	5,000
-----------	-------

市長段階査定額	5,000
---------	-------

区分	補正額
財源内訳	
国・県支出金	5,000
地方債	0
その他	0
一般財源	0
計	5,000

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収	0
その他	0

備考欄	
-----	--

事業の概要

【問合せ先】 中央人権福祉センター 0857-24-8241

【1次総の施策体系】 1403

【事業の経過及び背景】

平成27年にこどもの貧困対策・居場所づくりとして地域食堂（こども食堂）を開設して以来、充足率は中学校区で82%（14校区／17校区）、地域食堂ネットワークによる支援団体・企業数は50超となっている。さらには、食材を配分・管理するロジスティクス・ハブ拠点の設置により、「麒麟のまち圏域」への地域食堂の拡大を図っている。

【事業の目的及び効果】

これまでに開設した地域食堂の成功事例の分析や、地域食堂に関するアンケート調査を実施した上で、圏域自治体を対象としたフォーラムを開催することにより、情報共有を図り、圏域全体の地域食堂の充足率の向上、ネットワークの強化に繋げる。

【事業の内容】

- ① 地域食堂の成功事例の過程・現状の分析（鳥取市対象）
- ② 地域食堂に関するアンケート調査の実施・分析（他自治体等対象）
- ③ 麒麟のまち地域食堂フォーラムの実施